

I 第4週の発生動向 (2009/1/19~2009/1/25)

インフルエンザについては、上十三保健所管内において新たに**警報**が発令となり、五所川原保健所管内は、第3週から**注意報**が継続、東地方+青森市、八戸、むつ保健所管内においては新たに**注意報**が出されています。

II 第4週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数																																																					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		東地方(再掲)	青森市(再掲)																																																				
(85) インフルエンザ	203	15.62	144	9.60	157	11.21	160	22.86	273	30.33	76	12.67	1,013	15.83	485	7	3.50	196	17.82	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">保健所名</th> <th colspan="4">定点数</th> </tr> <tr> <th>小児科 (内科+小児科)</th> <th>内科</th> <th>眼科</th> <th>基幹</th> </tr> <tr> <td>東地方</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>弘前</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>八戸</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>五所川原</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>上十三</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>むつ</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>青森市</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>41</td> <td>23</td> <td>11</td> </tr> </table>	保健所名	定点数				小児科 (内科+小児科)	内科	眼科	基幹	東地方	2	1	1	0	弘前	15	9	6	3	八戸	14	9	5	2	五所川原	7	5	2	1	上十三	9	6	3	2	むつ	6	4	2	1	青森市	11	7	4	2	合計	64	41	23	11
保健所名	定点数																																																																				
	小児科 (内科+小児科)	内科	眼科	基幹																																																																	
東地方	2	1	1	0																																																																	
弘前	15	9	6	3																																																																	
八戸	14	9	5	2																																																																	
五所川原	7	5	2	1																																																																	
上十三	9	6	3	2																																																																	
むつ	6	4	2	1																																																																	
青森市	11	7	4	2																																																																	
合計	64	41	23	11																																																																	
(74) RSウイルス感染症			2	0.22					1	0.17			3	0.07	-2																																																						
(75) 咽頭結膜熱			1	0.11							5	1.25	6	0.15	0																																																						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.63	30	3.33	7	0.78	6	1.20	12	2.00	3	0.75	71	1.73	19	1	1.00	12	1.71																																																		
(77) 感染性胃腸炎	92	11.50	95	10.56	17	1.89	28	5.60	50	8.33	66	16.50	348	8.49	99	27	27.00	65	9.29																																																		
(78) 水痘	24	3.00	11	1.22	5	0.56	1	0.20	12	2.00	12	3.00	65	1.59	6	1	1.00	23	3.29																																																		
(79) 手足口病	9	1.13	13	1.44	2	0.22			1	0.17	1	0.25	26	0.63	2		9	1.29																																																			
(80) 伝染性紅斑			8	0.89					1	0.17			9	0.22	-1																																																						
(81) 突発性発しん	4	0.50	3	0.33			1	0.20	3	0.50	5	1.25	16	0.39	1	1	1.00	3	0.43																																																		
(82) 百日咳															-1																																																						
(83) ヘルパンギーナ	2	0.25											2	0.05	0			2	0.29																																																		
(84) 流行性耳下腺炎	5	0.63			2	0.22	1	0.20					8	0.20	-9	1	1.00	4	0.57																																																		
(86) 急性出血性結膜炎															0																																																						
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33									2	0.18	-1			1	0.50																																																		
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	6	6.00					1	1.00	8	1.33	6																																																						

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸2人、上十三1人、青森市2人 (21年計：17人)

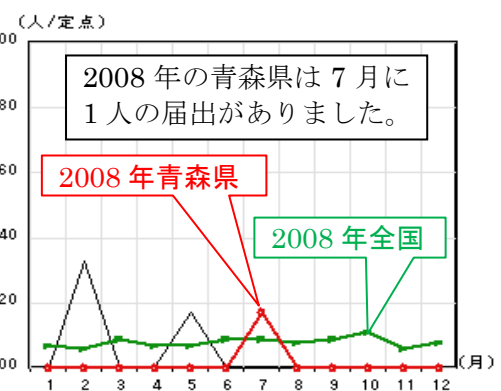
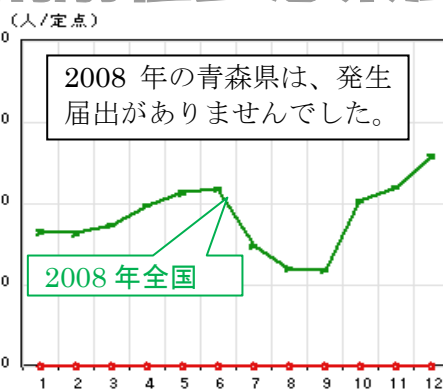
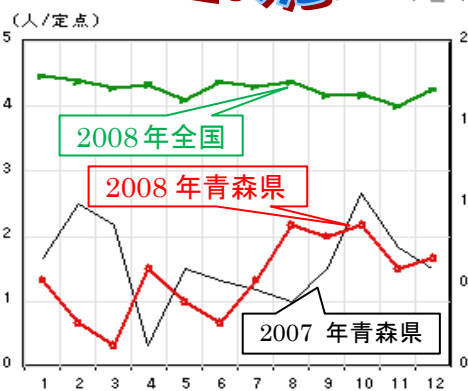
(55) レジオネラ(四類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：1人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

薬剤耐性菌感染症

(五類定点把握疾患)



ヒトの皮膚や鼻腔に常在する黄色ブドウ球菌が、抗生物質の一つであるメチシリンに対し耐性を獲得し、病原菌となってさまざまな症状を引き起こす感染症です。

正常人の口腔などに定着している肺炎球菌がペニシリンに対し、耐性を獲得し、咽頭炎や扁桃炎などを引き起こします。

生活環境中に広く常在し、通常は、病原性を示さない弱毒細菌の一つである緑膿菌が多くの抗生物質に耐性を示し、感染症などを引き起こします。

上記の薬剤耐性菌感染症は、基幹定点把握疾患であり、感染症発生動向調査では、月単位で収集しています(過去の部位別集計は、月報(4. 薬剤耐性菌感染症発生状況)をご覧ください)。これらの薬剤耐性菌感染症では、**栄養状態が悪い方や体の弱っている方が感染しやすくなり**、悪化すると肺炎や中耳炎、腸炎、尿路感染症、術創部感染症などさまざまな病態を引き起こします。

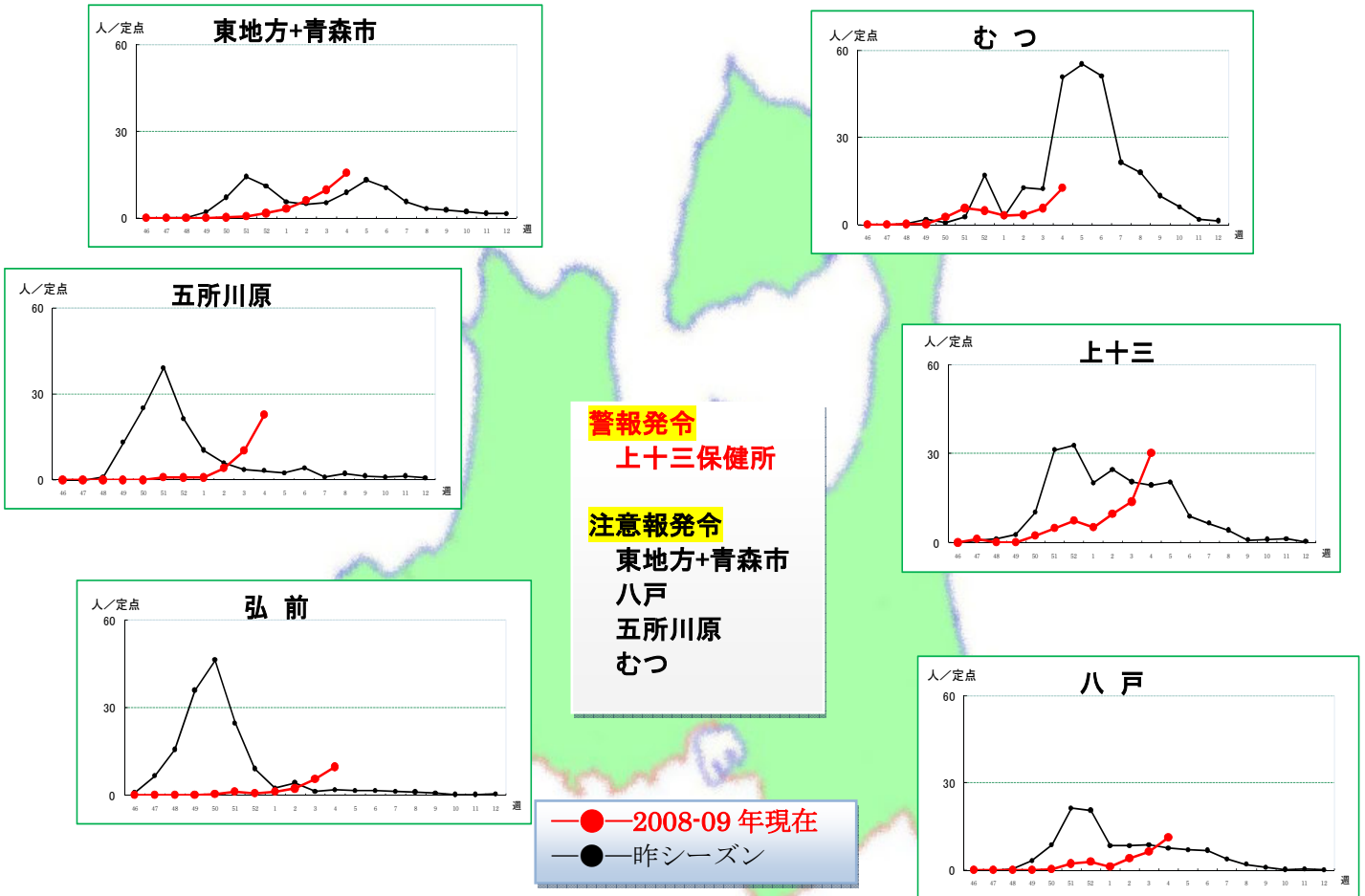
IV インフルエンザ情報

* Acrobat ファイルは、最新のバージョンでお願いいたします。

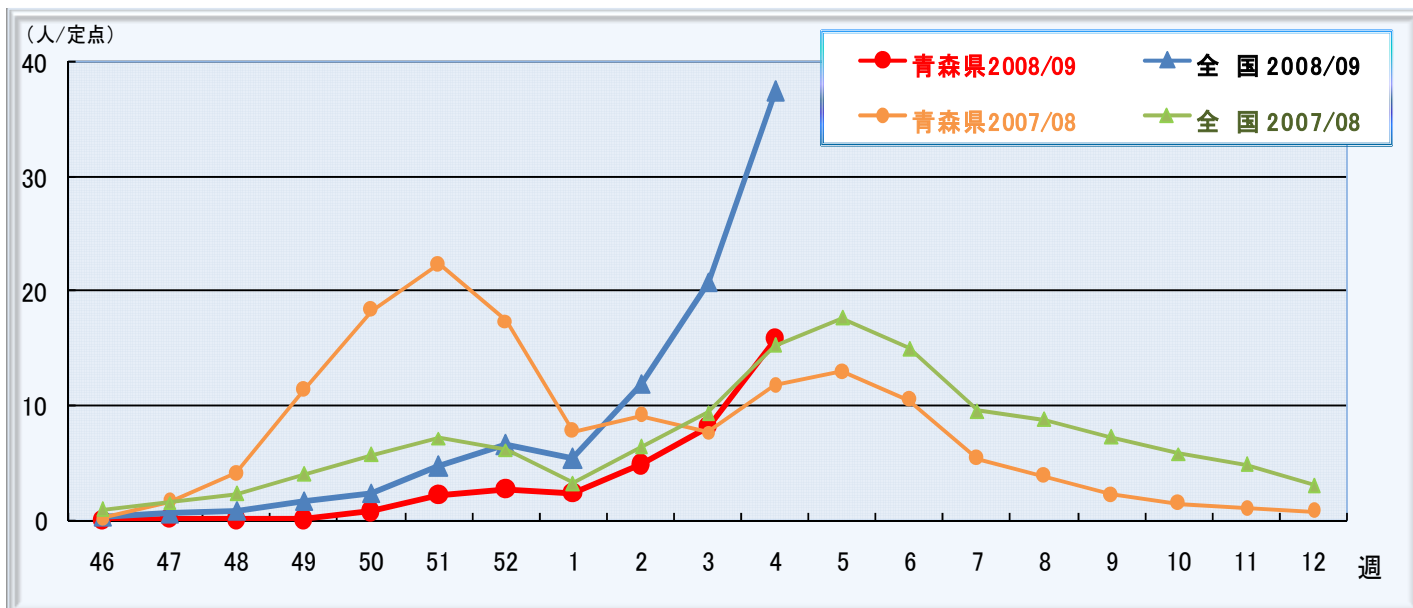
インフルエンザは、前週に比べ、485人の増加です（528人→1013人）。
迅速診断キットによる型別は、以下のとおりです。

東地方保健所管内：A型7人、弘前保健所管内：A型143人、B型1人、八戸保健所管内：A型93人、B型1人、不明63人、五所川原管内：A型157人、B型3人、上十三保健所管内：A型252人、B型13人、不明8人、むつ保健所管内：A型76人。

IV-1 保健所管内別届出数推移



V-2 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 ☞ 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html